

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	135	次世代アントレプレナー人材育成推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(5)-ウ		
	担当部課名	商工労働部産業政策課	事業実施(予定)年度	平成 27 ~ 29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	起業家マインド(アントレプレナーシップ)を有する人材を継続的に育成・輩出する仕組み作りを推進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	28,920	0	34,400
		(b) 予算現額	0	-	28,920	0	34,400
		(c) 増減額(b-a)	0	-	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)	0	-	28,920	0	34,400	
		B. 執行済額	0	-	24,605	0	30,463
	うち交付金充当額	0	-	19,684	0	24,370	
		C. 次年度繰越額	0	-	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	-	-	85.1%	-	88.6%	
予算の状況の説明	・執行率は88.6%であり、委託料の節減(3,509千円)によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	大学等に講師及びメンターを派遣し講義及びセミナー等を実施する	目標			80回	80回	
		実績			166回	180回	
	ビジネスプランコンテストへの支援	目標			支援実施	支援実施	
		実績			支援実施	支援実施	
	ビジネスリアルプログラム(実践・体験)の実施	目標			ビジネスリアルプログラム(イベント出展体験)の実施	ビジネスリアルプログラム(イベント出展体験)の実施	
		実績			ビジネスリアルプログラム(イベント出展体験)の実施	ビジネスリアルプログラム(イベント出展体験)の実施	
	達成状況説明	・県内大学等と連携を図り、講座の実施回数を増やすとともに当該事業の周知に努めた結果、講義及びセミナー等を180回実施し、目標値を大きく上回った。 ・ビジネスプランコンテストについては、参加した12チームに対し、ビジネスプランのブラッシュアップ等の支援を行った。 ・「事業計画策定」「販売活動」「決済処理」といった企業活動の一連の流れを実践・体験するビジネスリアルプログラムを実施し、6チーム34人が参加した。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値	26年度	27年度	28年度
本事業による講義受講者及びセミナー等人材育成プログラム参加者		目標			1,000人	1,000人	
		実績			1,346人	2,508人	
アントレプレナー人材育成に関する大学等間の情報の共有化		目標			情報の共有化	情報の共有化	
		実績			情報の共有化	情報の共有化	
参加する大学等の数		目標			4校	6校	
		実績			8校	6校	
進捗状況説明		・より多くの学生の参加を促すため、県内大学等と連携を図り、講座の実施回数を増やすとともに、当該事業の周知に努めた結果、プログラム参加校6校、講義受講者及びセミナー等人材育成プログラム参加者が2,508名となり、目標を達成した。 ・沖縄産学官協働人材育成円卓会議における本事業の紹介、有識者委員会の開催や、県外からの講師招聘、沖縄県産業振興公社等と連携を図るなど、ネットワークの促進や情報の共有化を行った。					

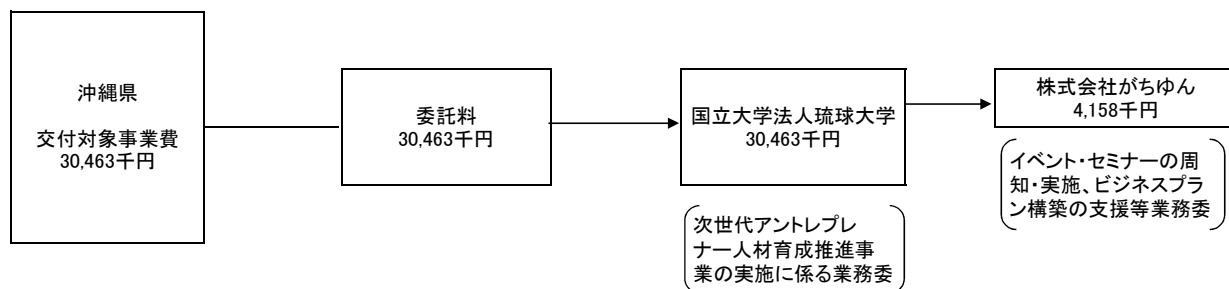
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの学生の参加を促すため、県内大学等と連携を図り、講座の実施回数を増やすとともに、当該事業の周知に努めた結果、多くの学生が参加し、成果指標の目標値を大きく上回ったことから、成果実績は「達成」と評価する。 ・セミナーやイベントへの学生の参加数と継続率を向上させるとともに、学生が実際に起業する際の支援、起業後の支援について具体的な取り組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーやイベントへの学生の参加数と継続率を向上させるために、周知活動を強化する。 ・学生が実際に起業する際の支援、起業後の支援については、フォローアップの実施、他事業や民間企業との連携に取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

・平成29年度も引き続き各大学、専門学校等を訪問し、事業周知及び講座実施に向けた要請を行い、更なる層の拡大と定着化の推進に努める。
 ・起業家支援、ベンチャー企業支援を担う関係機関、他事業、民間企業と連携を強化し、起業を志向する学生のフォローアップ及び関係機関への橋渡しを行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
30,463	30,463	24,370	6,093	0	0	0



資金の流 れの点 検・費 目・評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により受託希望者を公募し、選定委員会において決定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	